

# 三次元から二次元への移行期に制作された「未発表作」



2013年4月、RED AND

BLUE GALLERYの開廊記念展として開かれて以来となる、同所での島州一の個展。長いキャリアを誇り今なお精力的に発表を続ける作家だが、今展はひときわ特異なものだ。1980年代に手掛けた未発表の油彩シリーズを「初公開」する。パフォーマンスや立体から平面へと移行する時期の作品群だ。

契機となったのは1980年、文化庁芸術家在外研修員としてパリとニューヨークを中心に制作したことだった。従来の表現行為をいかにして二次元作品に

転換できるかという問題意識で

「油性の粘土を指で板に塗り付け、その上に和紙を被せてコンテでフロータージュシ、余白は指でちぎって除去することです

分の行為が平面のオブジェとなることを発見し、それを多量に使って壁や床にインスタレーションした。しかし、それでは本当の意味での平面作品になったとは承知せず、その翌年改めてフィラデルフィアやニューヨークにて制作を始めたのがDRUM PAINTINGだった」

円筒に紙やキャンバスなどを巻き付け、絵筆で斬りつけるようにして描く。円筒から外し広げた平面には、スピーディーでダイナミックなストロークが刻

まれていた—DRUM PAINTINGの技法が確立した。厳密に言えば同シリーズは一度だけ日本国内で発表している。「カーテンのように吊るして展示したんですが当時は相手にされませんでしたね。ヴァーチャルな現代に改めて「単純明快で即物的」な先品を問うてみたくなつたという。来年1月に埼玉県立近代美術館で予定されている足跡を辿る個展と併せ、作家の問いかけに正面から向き合いたい。



(DRUM PAINTING 2) 1982年  
キャンバス、油彩 162.2 × 130.3cm



(DRUM PAINTING 3)  
1982年 キャンバス、油彩 162.2 × 130.3cm

## 33年前の DRUM PAINTING 島州一展

11月7日→11月28日  
RED AND BLUE GALLERY  
中央区新富 1-5-5 トーア新富マンション 102  
03-6280-5287